



薬について調べるには

〒335-0021 戸田市大字新曽1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

ここでは、病院で処方される薬の情報と、
病状に合った薬の探し方を紹介します。

◎紹介する本は、本館2階の参考資料を中心に選びました。

知りたい情報は何ですか？

■薬を探すと言っても、薬剤名がわかった上で探す場合と、病状から薬を探す場合では使う資料が異なります。まずは自分が知りたい情報がなんであるかを確認し該当のページに進みましょう。

わかっていること	知りたいこと	該当ページ	どの項目を見るか
病名がわかる	処方される薬の名前	p.2	処方薬・商品名を調べる
病名がわかる	病気の説明と治療薬の情報	p.2-3	病気と薬の情報を得る
薬剤名・商品名がわかる	薬のききめや副作用	p.3	薬効・副作用を調べる
薬剤名・商品名がわかる	薬の値段	p.4	薬価を調べる
識別コードがわかる	対応する薬剤名	p.4	識別コードから調べる

※病名は医師の判断に基づきます。「私はこの病気だ」という自己判断はしないでください。

書架の探索と本の選別

■本館2階の29番・13A番の棚には医学・薬学・家庭医学の本が並んでいます。自分の知りたい情報に合った本を選別しましょう。書名から何を調べられるか判断できない場合は、凡例や索引を見ることをおすすめします。

●薬に関する本は次の分類記号の棚にあります。

医学	490	医薬品	499.1	家庭医学	598.3
----	-----	-----	-------	------	-------

- ・図書館の本には1冊ずつテーマを表す分類記号がついています。
- ・分類記号は本の背表紙に貼付されているラベルに記してあります。
- ・棚の本はすべて分類記号の数字順に並んでいます。本を探す際の目安にしてください。

処方薬・商品名を調べる

■ 医師から病名を告げられている場合は、以下の資料で処方される薬剤名がわかります。

書名(出版者、出版年/分類)/何を調べられる本か・調べ方のポイント
<p>『家庭の医学』 第 6 版(保健同人社、2008/R598.3)</p> <p>【何を調べられるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療の受け方、家庭内での医学の基礎知識を調べられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「応急処置」「病気の知識」「健康な生活のために」の3部構成。 ・「目次」「索引」(欧文索引・和文索引)あり。 <p>【調べ方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「索引」(欧文索引・和文索引)で病名を探します。
<p>『医者からもらった薬がわかる本』 第 29 版(法研、2014/ R499.1)</p> <p>【何を調べられるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本文は内服薬、外用薬、注射薬、漢方薬ごとに製剤情報・商品名・概要・使用上の注意などを調べられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・2012年3月に承認された薬までを、2012年4月改定の薬価で掲載。 ・索引は薬の名前、識別コード、病気別の薬で分かれています。 <p>【調べ方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「病気別の薬索引」で病名を探します。
<p>『ダイナミックメディシン』全7巻+別巻(西村書店、2003/R492.0)</p> <p>【何を調べられるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医学生・研修医・臨床従事者向けの医学書です。臨床診療の基礎知識から症状ごとの解説まで調べられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・各巻末に「和文索引」「欧文索引」あり。 ・本文は章編成のため、「全7巻 30章の構成」を見ながら対応します。 <p>【調べ方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別巻「和文総索引」で病名を探します。

病気と薬の情報を得る

■ 病気と治療薬の情報を同時に調べたいときは以下の資料をご覧ください。

書名(出版者、出版年/分類)/何を調べられる本か・調べ方のポイント
<p>『家庭の医学』 第 6 版 (保健同人社、2008/R598.3)</p> <p>【何を調べられるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療の受け方、家庭内での医学の基礎知識を調べられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「応急処置」「病気の知識」「健康な生活のために」の3部構成。 ・「目次」「索引」(欧文索引・和文索引)あり。 <p>【調べ方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「索引」で病名を探します。※治療薬は「処方薬・商品名を調べる」参照。
<p>『ダイナミックメディシン』全7巻+別巻 (西村書店、2003/R492.0)</p> <p>【何を調べられるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医学生・研修医・臨床従事者に向けた医学書です。臨床診療の基礎知識から、症状ごとの解説まで掲載されています。 <ul style="list-style-type: none"> ・各巻末に「和文総索引」「欧文総索引」あり。 ・本文は章編成のため、「全7巻 30章の構成」を見ながら対応します。

<p>【調べ方のポイント】</p> <p>(1)別巻「和文総索引」か「欧文総索引」で病名を探します。 (2)病状は「病態生理」を、治療薬は「治療」を見ます。※治療薬は「処方薬・商品名を調べる」参照。</p>
<p>『看護学大辞典』 第6版(メヂカルフレンド社、2013/R492.9)</p>
<p>【何を調べられるか】</p> <p>●看護学、医学(基礎、臨床)に関する用語を調べられます。 ・本文は50音順。／巻末に「欧文索引」あり。</p>
<p>【調べ方のポイント】</p> <p>・病名を本文(50音順)で探します。読み方がわからない外国語は「欧文索引」を使いましょう。</p>

薬効・副作用を調べる

■薬を飲む(使う)ときに気になるのは薬のききめや副作用です。薬効や副作用を知りたいときは下記の資料をご覧ください。

書名(出版者、出版年/分類)/何を調べられる本か・調べ方のポイント
<p>『医者からもらった薬がわかる本』 第29版 (法研、2014/R 499.1)</p>
<p>【何を調べられるか】</p> <p>●本文は内服薬、外用薬、注射薬、漢方薬ごとに製剤情報・商品名・概要・使用上の注意などを調べられます。 ・2012年3月に承認された薬までを、2012年4月改定の薬価で掲載。 ・索引は薬の名前、識別コード、病気別の薬で分かれています。</p>
<p>【調べ方のポイント】</p> <p>・「薬の名前50音索引」で薬剤名を探します。</p>
<p>『薬の事典』(朝倉書店、2001/R499.1)</p>
<p>●「総論」と「各論」の2部構成。「総論」では薬の歴史などの基本的な情報を、「各論」では症状別に処方される薬の特徴や禁忌、副作用、商品名などを調べられます。 ・「目次」「索引」あり。</p>
<p>【調べ方のポイント】</p> <p>・巻末「薬品索引」で薬剤名を引くか、「目次」で関連する症状を探します。</p>
<p>『第十六改正日本薬局方解説書』 全5巻 (廣川書店、2011/R499.1)</p>
<p>●性状・薬効薬理・副作用・来歴・製法・化学式などを調べられます。 ・通則、生薬総則、製剤総則、一般試験法、医薬品各条、参照紫外可視吸収スペクトル、参照赤外吸収スペクトル、参考情報、付録、索引で構成。</p>
<p>【調べ方のポイント】</p> <p>・「各条1488品目・目次(五十音順)」で薬剤名を探します。</p>

薬価を調べる

■薬1錠あたりの値段を知りたいときは、下記の資料をご覧ください。

書名(出版者、出版年/分類)/何を調べられる本か・調べ方のポイント
<p>『医者からもらった薬がわかる本』 第29版 (法研、2014/R 499.1)</p>
<p>●本文は内服薬、外用薬、注射薬、漢方薬ごとに製剤情報・商品名・概要・使用上の注意などを調べられます。 ・2012年3月に承認された薬までを、2012年4月改定の薬価で掲載。 ・索引は薬の名前、識別コード、病気別の薬で分かれています。</p>

<p>【調べ方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「薬の名前 50 音索引」で薬剤名を探します。
<p>『オレンジブック』保険薬局版 2010 年 4 月版（薬事日報社、2010/R499.1）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●医薬品（歯科用薬剤を除く）の薬価・剤形・製剤特性・後発品・品質情報・販売名・製造販売を調べられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省告示第 70 号「薬価基準改正」（平成 22 年 3 月現在）に対応。 ・医薬品は内用薬と外用薬に分かれており、一般名の 50 音順です。 ・配合剤の検索には「販売名索引」を使います。
<p>【調べ方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般名索引」で薬剤名を探します。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 識別コードから調べる ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■パッケージや処方箋をなくしてしまった。そんな時、薬に刻印されている数字・アルファベットから薬剤名を調べることができます。

医薬品	499.1
-----	-------

書名(出版者、出版年/分類)/何を調べられる本か・調べ方のポイント
<p>『医者からもらった薬がわかる本』 第 29 版（法研、2014/R 499.1）</p>
<p>【何を調べられるか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本文は内服薬、外用薬、注射薬、漢方薬ごとに製剤情報・商品名・概要・使用上の注意などを調べられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・2012 年 3 月に承認された薬までを、2012 年 4 月改定の薬価で掲載。 ・索引は薬の名前、識別コード、病気別の薬で分かれています。
<p>【調べ方のポイント】</p> <p>(1)p.177-345「識別コード索引(内服薬)」を使います。※この索引では、薬の剤形・商品名・メーカー名・分類・本文掲載ページがわかります。</p> <p>(2)薬に印字されているのが、数字かアルファベットか記号か順番に確認しましょう。</p>
<p>『薬の事典』（朝倉書店、2001/R499.1）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●「総論」では薬の歴史などの基本的な情報を、「各論」では症状別に処方される薬の特徴や禁忌、副作用、商品名などを調べられます。 <ul style="list-style-type: none"> ・「総論」と「各論」の 2 部構成。／「目次」「索引」あり。
<p>【調べ方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目次」で p.11「17 薬の見分け方-17.2 薬の識別コード」を探します。※数字・アルファベット検索はできません。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ インターネットで調べる ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■本以外にも、国・都道府県、製薬会社のホームページなどで薬の情報を知ることができます。

・埼玉県立久喜図書館ウェブサイト内(https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/access/kuki.html)
「健康・医療情報サービス」が公開されています。病名・症状索引、健康・医療に役立つリンク集があります。